BYK-302

版番号	改訂日:	前回改訂日: 2024/05/15
4.3	2026/10/06	初回作成日: 2014/04/10

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : BYK-302

製品コード : 000000000000104016

供給者情報

供給者の会社名称 : ビックケミー・ジャパン株式会社
住所 : 東京都新宿区市谷本村町3-29
電話番号 : +49 281 670-23532
ＦＡＸ番号 : +49 281 670-23533
電子メールアドレス : GHS.BYK@altana.com
緊急連絡電話番号 : East/South East Asia +65 3158 1074

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

危険有害性絵表示、注意喚起語、危険有害性情報、注意書きは不要

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	>= 0.1 - < 1

4. 応急措置

一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。

吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
石けんと水で洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

眼に入った場合	:	コンタクトレンズをはずす。 損傷していない眼を保護する。 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
飲み込んだ場合	:	気道を確保する。 ミルクやアルコール飲料を与えない。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	:	情報無し。
医師に対する特別な注意事項	:	情報無し。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	:	二酸化炭素（CO2） 粉末消火剤
使ってはならない消火剤	:	大型棒状の水
有害燃焼副産物	:	炭素酸化物
特有の消火方法	:	化学物質の火災に対する標準手順。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
消火を行う者の保護	:	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	保護具を使用する。
環境に対する注意事項	:	河川または下水システムに排水しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火災及び爆発の予防	:	標準的な防火方法。
安全取扱注意事項	:	個人保護については項目 8 を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
接触回避	:	強酸化剤
衛生対策	:	作業上の一般的な注意事項を守る。

保管

安全な保管条件	:	電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
混触禁止物質	:	特に言及するべき物質は無し。

保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

保護具

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

手の保護具

材質 : ブチルゴム

破過時間 : > 240 min

備考 : 適切な手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 淡黄色

臭い : 強くはない

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : < 0 ° C
方法: derived

初留点 : > 200 ° C
分解: 該当
方法: derived

可燃性（液体） : 燃焼を持続する。

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし

爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし

引火点 : 202 ° C

方法: 9 (Cleveland, open cup)

分解温度	:	データなし
pH	:	7 (20 ° C) 含有量:10 % 方法:Universal pH-value indicator
蒸発速度	:	データなし
自然発火温度	:	> 200 ° C 方法:DIN 51 794/ DIN prEN 14 522
粘度		
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度（動粘性率）	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全に可溶
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	データなし
蒸気圧	:	< 1 hPa (20.00 ° C) 方法:derived
密度及び／又は相対密度		
比重	:	データなし
密度	:	1.0350 g/cm3 (20.00 ° C) 方法:4 (20° C oscillating U-tube)
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性		
粒子サイズ	:	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	:	推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。

避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	強酸化剤
危険有害な分解生成物	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報

急性毒性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

急性毒性（経口）	:	LD50 (ラット): 7,500.000000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 401

皮膚腐食性／刺激性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品:

種	:	ウサギ
方法	:	OECD 試験ガイドライン 404
結果	:	皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品:

種	:	ウサギ
結果	:	眼への刺激なし
方法	:	OECD 試験ガイドライン 405

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

データが不足しているので分類されていない。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考	:	データなし

成分:

オクタメチルシクロテトラシロキサン:

種	:	モルモット

方法	:	OECD 試験ガイドライン 406
結果	:	皮膚を過敏化させない。
GLP	:	該当

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

in vitro での遺伝毒性	:	備考: データなし
in vivo での遺伝毒性	:	備考: データなし

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考	:	データなし

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

妊娠に対する影響	:	備考: データなし
胎児の発育への影響	:	備考: データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考	:	データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

製品:

備考	:	データなし

反復投与毒性

製品:

備考	:	データなし

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

データなし

詳細情報

製品:

備考 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : 備考: データなし

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: データなし

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。

汚染容器及び包装	:	空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号	:	非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	非該当
国連分類 (Class)	:	非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	:	非該当
容器等級 (Packing group)	:	非該当
ラベル (Labels)	:	非該当

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	:	非該当
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	非該当
国連分類 (Class)	:	非該当
副次危険性 (Subsidiary risk)	:	非該当
容器等級 (Packing group)	:	非該当
ラベル (Labels)	:	非該当
梱包指示（貨物機） (Packing instruction (cargo aircraft))	:	非該当
梱包指示（旅客機） (Packing instruction (passenger aircraft))	:	非該当

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号	:	非該当
国連輸送名	:	非該当
国連分類	:	非該当
副次危険性	:	非該当
容器等級	:	非該当
ラベル	:	非該当
EmS コード	:	非該当
海洋汚染物質(該当・非該当)	:	非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第四石油類, (6000 リットル), 危険等級 III

化審法

監視化学物質

化学名	番号
２，２，４，４，６，６，８，８－オクタメチル－１，３，５，７，２，４，６，８－テトラオキサテトラシロカン	40

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（則 34 条の 2 別表 2）

化学名	備考
2,2,4,4,6,6,8,8-オクタメチルシクロテトラシロキサン	施行日 2026 年 4 月 1 日

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

水質汚濁防止法

指定物質（法第２条４項、施行令第３条の３）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト（カナダ）; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成

長率; ERG – 緊急対応の手引き; GHS – 世界調和システム; GLP – 試験実施規範; IARC – 国際がん研究機関; IATA – 国際航空運送協会; IBC – 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 – 50%阻害濃度; ICAO – 国際民間航空機関; IECSC – 中国現有化学物質名録; IMDG – 国際海上危険物規程; IMO – 国際海事機関; ISHL – 労働安全衛生法(日本); ISO – 国際標準化機構; KECI – 韓国既存化学物質名録; LC50 – 50%致死濃度; LD50 – 50%致死量（半数致死量）; LSPN – 通知された危険物質リスト（チリ）; MARPOL – 船舶による汚染の防止のための国際条約; MERCOSUR – 危険物輸送円滑化協定; n.o.s. – 他に品名が明示されているものを除く; Nch – チリ規則; NO(A)EC – 無有害性影響濃度; NO(A)EL – 無有害性影響レベル; NOELR – 無有害性影響負荷割合; NOM – メキシコ公式規則; NTP – 米国国家毒性プログラム; NZIoC – ニュージーランド化学物質台帳; OECD – 経済協力開発機構; OPPTS – 化学物質安全性・公害防止局; PBT – 難分解性性・生体蓄積性・有毒性(物質）; PICCS – フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR – （定量的）構造活性相関; REACH – 化学物質の登録、評価、認 可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT – 自己加速分解温度; SDS – 安全データシート; TECI – タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI – 台湾化学物質インベントリー; TDG – 危険物輸送; TSCA – 有害物質規制法(米国); UN – 国連; UNRTDG – 国際連合危険物輸送勧告; vPvB – 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS – 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート（以下「SDS」といいます。）に記載されている情報は、データシートの作成日現在において当社が保有している知見に基づき作成されたものです。SDS は対象製品の安全な取扱い、使用、加工、保管、輸送、漏洩時および廃棄に関する指針（ガイダンス）としてのご使用のみを意図して発行されるものであり、対象製品について明示、黙示を問わず何らかの保証を行うものでも、また品質規格を定めるものでもありません。また、SDS に記載された情報は、指定された特定の製品の単独利用の場合におけるものであり、SDS に明示的に記載された場合を除き、指定外の物質との併用や指定外の工程での利用において、対象製品が SDS に記載された情報と合致することを何ら保証するものでもありません。

JP / JA